

平成二十九年度 作東地域自治振興協議会総会

【五月十八日】

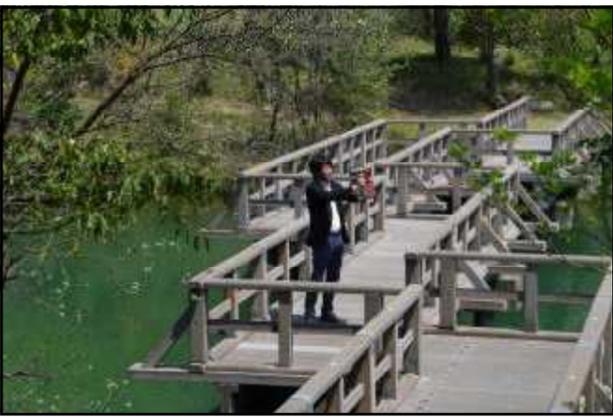
総会では、規約改正、役員改選がありました。議事では、「あわい村44号」に掲載した平成28年度事業報告、敬老会収支決算報告、平成29年度事業計画が承認されました。主に話題になったことは、「作東地域・敬老祝賀会」を今後どうするか。河川、道路一斉クリーン作戦での収集したゴミの分別に不備がある地域があること、犬の糞の始末、野良猫にえさを与えないこと、などでした。



その他で、「花いっぱい運動」の今年の分配金は、1地区4万6千円になったことでした。

能登香の里小房運営委員会

【五月三十一日】



今回の運営委員会では、特に経営改善策を検討しました。誘客では、市の産業振興課の協力を仰いで、市内の工業団地の企業36社で作る組織にP.Rしていく事が決まりました。コスト削減では、布団のカバーを替え、自分達で洗濯をします。施設面では、観光振興課と観光協会の協力で、新しい看板、案内板を設置します。日揮のソーラー関係にも誘客出来るようにしました。今は、経営改善が急務です。

能登香の里粟井村 第三十二回 田植え祭り

【六月 四日】



快晴に恵まれ粟井地区内から60人もの方の参加を得て盛大に開催することが出来ました。久しぶりに「粟井つ子」の元気な姿も見ることが出来ました。粟井宮司さんより「御田植え」の歴史と言われ、神事の作法の分かりやすい説明もありました。議員からは、地域文化の継承の意義、校舎の有効活用などの挨拶がありました。昼食は、生活交流グループの支援の下、愛育・栄養委員の協力でおいしい料理をいただく事が出来ました。これも地域文化の伝承です。最後は「ビンゴゲーム」で盛り上がり無事終了しました。協力して下さったみなさん、本当にご苦労様でした。



子ども達も年々上手になります。秋には何か楽しいイベントでもてなします。



地域で子どもを守る江見ネット

【五月十九日】



江見小学校で開催されました。会の目的は、学校、保護者、地域社会が連携し、江見小学校児童の安全の確保を図るとともに、子ども達の健全育成を図ることです。今回は、4月18日起きた不審者の声かけ事案について、地域での「あいさつ、声かけ」についてが話題に上がりました。また、駐在所からは、架空請求詐欺、車上ねらい、忍び込み盗難被害について情報交換がありました。役員改正で、宮前会長、春名、久保副会長の留任が決まりました。

能登香の湯運営委員会より

6月20日、能登香の湯を一日休業して、配管をつなぎ替えます。工事にはほぼ完了しています。今まで利用者の方にご不便をおかけしていましたが、これでシャワーや湯船への給湯に関する課題が、解決する予定です。ガット(業者)が、責任を持ってくれます。

【編集後記】平成25年6月22日、粟井地区村創りの会が発足した。今年6月でちょうど4年になる。今年一年頑張れば、五年が過ぎる。設立時、市の関係者は、「五年続けば、組織は信頼を得て安定する。」と言っていた。その五年目である。今、粟井村の各組織は、持続可能な組織に向けて特に努力をしている。一人ひとりが「粟井のために。」と知恵と汗を出してほしいものである。